

鶴岡から共産党の議席奪還を

週刊



NO. 1939
2015. 4. 5

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313
qqsw67zb9@bird.ocn.ne.jp
<http://www6.ocn.ne.jp/~jcp-tsur/>

大高橋 国
みち智 国会議員
きづ智 連絡所
しづ子 事務所
鶴岡市美原町16-5
☎22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所

加藤 太一
稲生 2-6-6
24-5935

関 徹
長者町11-26
24-2414

加藤 鉦一
宝徳 仲田 56
64-3941

菅井 巖
中 桶 9 6
33-0534

県議選告示

一人はみ出し、一票を争う激戦 関とおる候補が懸命の訴え



告示前最後の週末、後援会員と一緒に街頭で訴える関とおる候補
(3月29日、東新斎町)

訴え、共感を広げています。
また、県労連副議長や鶴岡田川地域労連の事務局長として労働運動に取り組んだ経験を生かして長時間過密労働労働、低賃金の改善にも力を尽くすと訴えています。

選挙戦は、他の5人の候補者を関とおる候補が追う構図となっており、地域や職場で支持の輪が広がっています。

他候補を追い上げ

選挙戦は、他の5人の候補者を関とおる候補が追う構図となっており、地域や職場で支持の輪が広がっています。

安倍暴走政治にストップ

関とおる候補は、「安倍内閣が強行する『戦争する国づくり』にキツパリ反対を貫けるのは日本共産党。アベノミクスの転換で市民の

3日、山形県議会議員選挙が告示されました。鶴岡市選挙区は定数5人。

日本共産党からは関とおる前市議が立候補し前回失った共産党の議席回復に挑みます。同選挙区には関とおる候補の他、現職4人(自民党2、民主党1、無所属1)に自民の新人が立候補、一人はみ出しの少数激戦となっています。

関とおる候補は、医療生活協同組合に20年間勤務した経験を生かして医師の確保、看護

日本共産党の躍進で安倍暴走政治に審判を 関とおる候補押し上げに最後までご支援を

山形県議選鶴岡市区選挙対策本部長 佐藤 誠一

今度の山形県議会選挙の争点は「日本共産党の躍進で安倍暴走政治に山形から審判をくだす」と「県政を安倍暴走政治から県民の命と暮らしを守る防波堤にする」の2つです。この中で自民党と対決し、ぶれずにフツを

関とおる候補へのご支持・ご支援をお願いいたします。

小竹輝弥さんが1967年に初めて議席を獲得して以来の鶴岡の伝統を発揮して、関とおる候補を最後の最後まで押し上げ、議席を獲得させていただきますように心からお願ひ申し上げます。

関とおる候補は昨年7月に立候補を表明して以来、宣伝・訪問・つどい参加等に全力をあげる中で、政策と争点を浸透させてきました。

